

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学 科	年度 / 時期	授 業 形 態
情報処理Ⅱ	歯科衛生学科/2年次	2021年度/前期	講義 ・ 演習 ・ 実習
授 業 の 回 数 (×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授 業 担 当 者
15回	1単位(30 時間)	必須	田井 麻友美 (実務経験有)
<p>[授 業 の 目 的 ・ ね ら い]</p> <p>PowerPoint2016を使って企画書から発表までを行えるプレゼンテーション資料を作成できるスキルを身につけ、実際にプレゼンテーション発表することを目的とする。</p> <p>【実務経験有】田井 麻友美:MCT2010等の資格をもち、企業等での指導経験も踏まえて、学生が社会に出てから必要なスキルを教授できる。</p> <p>[授 業 修 了 時 の 達 成 課 題 (行 動 目 標)]</p> <p>1. 卒業研究データを整理・分析し、プレゼンテーション資料をPowerPointで作成ができる。</p> <p>2. PowerPoint2016のアニメーションを使い、プレゼンテーションができる。</p>			
[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト
1	プレゼンテーション資料の作成	1)スライドの挿入	
		2)プレスホルダと文字の編集	
		3)イラスト、画像の挿入	
		4)ワードアートの挿入	
2		5)グラフ、表の挿入	
		6)図形の作成、編集	
		7)アニメーション効果設定	
3		8)スライドマスタ	
		9)ノートの作成	
		10)スライドショーの実行	
4		11)アニメーション効果設定	
		12)スライドマスタ	
		13)ノートの作成	
		14)スライドショーの実行	
5	パソコンを用いた 演習(歯科衛生研究)	1) 歯科衛生研究(情報収集・分析)	・テーマに基づいて調査データを分析し、 仮説を立てる ・調査データの図・表の作成
6			・全体構成および発表原稿の制作
7			
8			
9			
10		2) 歯科衛生研究(パワーポイントの制作)	
11			
12			
13			
14			
15	課題発表	1)プレゼンテーション発表	
			事前学習
			次回の授業内容をふまえて テキストを用いて予習する
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
・「よくわかるMicrosoft Power Point2016基礎」 富士通エフ・オー・エム株式会社 FOM出版		1) 実習・実技評価	: 60%
		2) 課題・レポート	: 30%
		3) 出席率	: 10%

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科 / 学年	年度 / 時期	授業形態																																				
文章表現法	歯科衛生学科/2年次	2021年度/前期	講義・演習・実習																																				
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者																																				
8回	1単位(16時間)	必須	横井 敦子																																				
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>社会人基礎力と多様な思考力を形成することを目指す。適切な表現方法を実際に考えることで、社会で必要となる日本語表現の様々なスキルを獲得することをねらいとする。日本語の適切な表現法を点検し語彙力を増やすことで、実習日誌などに必要となる学術的表現や読み手の理解と共感を得るための書き方ができるような基本的知識と文章作成力を身に付ける。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人基礎教育として、ものの見方、考え方、文章の書き方と構成の仕方、話の聞き方を学ぶ。 2. 日常生活において、適切な言葉で表現・伝達できる力を身につける。 3. 現在の歯科衛生業界のトピックスを知ることで自己の目指す職業人を具体的に描くことができる。 4. 2年次後期から始まる臨地実習に向けて、実習日誌記載方法の基本を身に付ける。 <p>[授業の内容]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">回</th> <th style="width: 20%;">単 元</th> <th style="width: 40%;">内 容</th> <th style="width: 35%;">学習のポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>社会人基礎力</td> <td>1)モノの見方・考え方 2)文章の書き方と構成の仕方 3)話の聞き方</td> <td>社会人・医療人の基礎力 文章の書き方の基本 課題レポート提出</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>文章表現法</td> <td>1)学術的表現 2)適切な表現法 3)好印象を持たれる立ち振る舞い</td> <td>職業について深く知る 歯科衛生の現在のトピックスから記事を選択し要約する 課題レポート提出</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>日本語表現法</td> <td>1)敬語の使い方 2)尊敬語・謙譲語・丁寧語・言葉遣い 3)好印象を持たれる立ち振る舞い</td> <td>適切な言葉遣い 社会人として相応しい所作</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>文章表現法</td> <td>1)学術的表現 2)適切な表現法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>実習日誌の記載方法</td> <td>1)臨床実習症例(基礎編) 2)臨床実習症例(応用編)</td> <td>実習の症例から記載の仕方を学ぶ 課題レポート提出</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>職業とは</td> <td>1)世の中の仕事を知る 2)自分を知る</td> <td>世の中の仕事の種類 自己分析で自己を知る</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>自己分析</td> <td>1)歯科衛生士観を探求する 2)自分に合った就職先を考える</td> <td> 課題レポート提出</td> </tr> </tbody> </table>				回	単 元	内 容	学習のポイント	1	社会人基礎力	1)モノの見方・考え方 2)文章の書き方と構成の仕方 3)話の聞き方	社会人・医療人の基礎力 文章の書き方の基本 課題レポート提出	2				3	文章表現法	1)学術的表現 2)適切な表現法 3)好印象を持たれる立ち振る舞い	職業について深く知る 歯科衛生の現在のトピックスから記事を選択し要約する 課題レポート提出	4	日本語表現法	1)敬語の使い方 2)尊敬語・謙譲語・丁寧語・言葉遣い 3)好印象を持たれる立ち振る舞い	適切な言葉遣い 社会人として相応しい所作	5	文章表現法	1)学術的表現 2)適切な表現法		6	実習日誌の記載方法	1)臨床実習症例(基礎編) 2)臨床実習症例(応用編)	実習の症例から記載の仕方を学ぶ 課題レポート提出	7	職業とは	1)世の中の仕事を知る 2)自分を知る	世の中の仕事の種類 自己分析で自己を知る	8	自己分析	1)歯科衛生士観を探求する 2)自分に合った就職先を考える	 課題レポート提出
回	単 元	内 容	学習のポイント																																				
1	社会人基礎力	1)モノの見方・考え方 2)文章の書き方と構成の仕方 3)話の聞き方	社会人・医療人の基礎力 文章の書き方の基本 課題レポート提出																																				
2																																							
3	文章表現法	1)学術的表現 2)適切な表現法 3)好印象を持たれる立ち振る舞い	職業について深く知る 歯科衛生の現在のトピックスから記事を選択し要約する 課題レポート提出																																				
4	日本語表現法	1)敬語の使い方 2)尊敬語・謙譲語・丁寧語・言葉遣い 3)好印象を持たれる立ち振る舞い	適切な言葉遣い 社会人として相応しい所作																																				
5	文章表現法	1)学術的表現 2)適切な表現法																																					
6	実習日誌の記載方法	1)臨床実習症例(基礎編) 2)臨床実習症例(応用編)	実習の症例から記載の仕方を学ぶ 課題レポート提出																																				
7	職業とは	1)世の中の仕事を知る 2)自分を知る	世の中の仕事の種類 自己分析で自己を知る																																				
8	自己分析	1)歯科衛生士観を探求する 2)自分に合った就職先を考える	 課題レポート提出																																				
			事前学習																																				
			次回の授業内容をふまえて テキストを用いて予習する																																				
[参考テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)																																					
熱血！森吉弘の「就活ゼミ教材」		指示した日時までに課題レポートを提出しなければ評価を受けることができない。 1) 課題レポート内容 :90% 2) 出席率 :10%																																					

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
英語コミュニケーション	歯科衛生学科/2年次	2021年度/後期	講義・演習・実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
15回	2単位(30時間)	必須	松田 珠生
<p>[授業の目的・ねらい] 歯科で必要とされる語学の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基本的知識と能力を習得する。</p>			
<p>[授業修了時の達成課題(行動目標)] 1. 歯科衛生学に関連する外国語のうち代表的なものを列挙できる。 2. 短い日本語を文法にかなった外国語に直すことができる。 3. 外国語の日常会話を聞いて内容を理解できる。</p>			
[授業の内容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	オリエンテーション	・自己紹介の表現・クラスルーム英語	事前学習 次回の授業内容をふまえて プリントを用いて予習する
2	診療室での英会話 歯科単語	・歯科単語(歯科医療に携わる者)	
3		・歯科英語・単語 ・「Passport」・Would you like AorB? ・「Passport」・Would you like some~?	
4		・歯科英語 ・単語復習	
5		・「Passport」・Could I have some~?	
6		・国名・都市名の言い方 ・感想を言う表現 ・How was your~?	
7		・歯科英語 ・新出単語	
8		・歯科英語 ・新出単語	
9		・歯科英語 ・新出単語	
10		・歯科英語 ・新出単語	
11		・歯科英語 ・新出単語	
12		・歯科英語 ・新出単語	
13		・歯科英語 ・新出単語	
14		・歯科英語 ・新出単語	
15		・歯科英語 ・新出単語 ・まとめ	
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
テキストなし		1) 科目終了時の最終試験の評価 : 60% 2) 授業態度 : 30% 3) 出席率 : 10% ※学習に主体的に参加すること	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
歯科補綴学	歯科衛生学科/2年次	2021年度/前期	講義・演習・実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
8回	1単位(16時間)	必須	池田 優佳 (実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい] 歯科衛生業務を行うために必要な歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の一部、あるいは全部欠損に対する咬合回復の治療法を理解する。 【実務経験有】池田 優佳: 歯科医師の資格を活かし、業務経験をもとに歯科補綴学に関する基礎知識を学生に教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)] 1. 歯列の形態と位置的關係、顎口腔系の機能、咬合について説明できる。 2. 補綴装置の種類と適応を説明できる。 3. 支台装置とポンティックの選択、特徴および製作方法を概説できる。 4. 可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 5. 補綴治療の臨床ステップとおよび技工操作を概説できる。</p>			
[授業の内容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	歯科補綴治療の基礎 歯科補綴の概要 1編1章P2～28	1)補綴とは 2)歯の欠損に伴う生理的变化 3)補綴装置の種類と適応	<ul style="list-style-type: none"> ・補綴歯科治療の目的 ・クラウン、ブリッジ、全部床義歯、部分床義歯、インプラント ・特殊な口腔内装置 ・カンペル平面・前頭面・矢状面・水平面
2	補綴治療の基礎知識 2章P29～45 補綴歯科治療における検査 2編1章P48～67	<ul style="list-style-type: none"> ・歯列と咬合 1)補綴治療における検査の種類と方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・下顎安静位・中心咬合位・咬合嵌合位 ・口腔内検査、画像検査、咬合と顎口腔機能の検査
3	クラウン・ブリッジ治療 2章P68～78 2章P78～108	<ul style="list-style-type: none"> 1)クラウン・ブリッジ治療の概要 ・治療の流れと歯科衛生の役割 ・クラウン、ブリッジ治療に伴うトラブルとその対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・全部被覆冠、一部被覆冠 ・ポンティック・支台装置・連結部 ・患者への説明と指導 ・CAD/CAMクラウン、ブリッジ
4	有床義歯治療 3章P109～174	<ul style="list-style-type: none"> 1)全部床義歯治療の概要 2)全部床義歯治療の流れ ・医療面接、検査、治療計画、前処置、概形印象 ・精密印象、咬合採得、試適、装着、調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデリングコンパウンド、個人トレー、筋圧形成 ・フェイスポートランスファー、ゴシックアーチ、ろう義歯 ・チェックバイト、人工歯配列 ・義歯の着脱、清掃、メンテナンス ・フラビーガム、リライン、リベース ・クラスプ、アタッチメント ・レスト、フック、スパー、連結子 ・フレームワーク
5	P145～174	<ul style="list-style-type: none"> ・患者への説明と指導 ・全部床義歯治療に伴うトラブルとその対応 3)部分床義歯治療の概要と流れ ・部分床義歯の分類と構成要素 ・精密印象、咬合採得、試適、装着、調整 ・患者への説明と指導、トラブルとその対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・アバットメント、コーピング、デジタルソリューション
6	インプラント治療 4章P175～208	<ul style="list-style-type: none"> 4)インプラント治療の概要と流れ メンテナンス、患者への説明と清掃、トラブルとその対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチエイド ・スポーツマウスガード
7	特殊な口腔内装置を用いる治療 5章P209～219	<ul style="list-style-type: none"> ・上下無歯顎症例 	
8	補綴治療における器材の管理 6章P220～226	<ul style="list-style-type: none"> 5)特殊な口腔内装置を用いる治療 6)補綴歯科治療における器材 ・器具、器材別滅菌、消毒、洗浄、保管 	
			事前学習
			次回の授業内容をふまえてテキストを用いて予習する
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
・最新歯科衛生士教本 「咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴 第2版」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社		1) 科目終了時の最終試験の評価 : 90% 2) 出席率 : 10%	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
口腔外科学・麻酔学	歯科衛生学科/2年次	2021年度/前期	講義・演習・実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
8回	1単位(16時間)	必須	長谷川 利聡(実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>歯科衛生業務を行うために必要な口腔・顎顔面領域の疾患の特徴と病態、診断法および治療法を理解する。</p> <p>【実務経験有】長谷川 利聡:歯科医師の資格を活かし、業務経験をもとに口腔外科学に関する基礎知識を学生に教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔・顎顔面領域に生じる各種疾患を大きく分類できる。 2. 先天異常と発育異常の病態と治療法を概説できる。 3. 各種口腔粘膜疾患の特徴と治療法を概説できる。 4. 顎骨および口腔軟組織に発生する嚢胞の特徴と治療法を概説できる。 5. 口腔・顎顔面領域の良性腫瘍、悪性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類と特徴および治療法を概説できる。 6. 抜歯・口腔外科小手術の手順を説明できる。 			
[授業の内容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	I)顎・口腔粘膜疾患と口腔外科	1章 口腔外科の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔病変と全身疾患 ・口腔領域の先天異常・変形・口唇裂・口蓋裂 ・歯および歯槽の損傷、顎骨骨折・顎関節疾患 ・水泡形成、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着、萎縮、乾燥、粘膜の出 ・顎骨、周囲組織の炎症 ・顎骨および軟組織に発生する嚢胞 ・良性腫瘍と悪性腫瘍・腫瘍の分類 ・歯原性腫瘍と非歯原性腫瘍 ・腫瘍の分類 ・TNM分類 ・エプーリス・フラビーガム・骨隆起 ・炎症性唾液腺疾患・唾石・唾液腺腫瘍 ・バレーの3圧痛点 ・神経麻痺・痙攣 ・verrillのサイン 口腔外科致傷の流れ・清潔と不潔 ・抜歯術・嚢胞摘出術・インプラント ・止血処置・縫合処置
2		2章 顎・口腔領域の先天異常と発育異常	
3		3章 顎・口腔領域の損傷	
4		4章 口腔粘膜の病変	
5		5章 顎・口腔領域の化膿性炎症疾患	
6		6章 顎・口腔領域の嚢胞	
7		7章 顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患	
8		8章 唾液腺疾患	
9		9章 口腔領域の神経疾患	
10		10章 口腔外科診療の実際	
11	口腔外科小手術		
12	II)歯科治療と歯科麻酔	2章 局所麻酔法 3章 精神鎮静法 4章 全身麻酔	<ul style="list-style-type: none"> 血管収縮薬 ・吸入鎮静法・静脈内鎮静法・全身麻酔法 <p>★理解度確認小テスト</p>
※Ⅱ編1, 5章およびⅢ編は歯科診療補助論Ⅱで履修する。			事前学習
			次回の授業内容をふまえてテキストを用いて予習する
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
<ul style="list-style-type: none"> ・最新歯科衛生士教本 「口腔外科学・歯科麻酔」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社 		<ol style="list-style-type: none"> 1) 科目終了時の最終試験の評価 : 90% 2) 出席率 : 10% 	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
歯科矯正学	歯科衛生学科/2年次	2021年度/前期	講義・演習・実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
8回	1単位(15時間)	必須	池田 優佳 (実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい] 歯科衛生業務を行うために必要な不正咬合の診断および治療法を理解する。 【実務経験有】池田 優佳: 歯科医師の資格を活かし、業務経験をもとに歯科矯正学に関する基礎知識を学生に教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯、歯列、咬合の役割と全身の関係を説明できる。 2. 不正咬合の種類を列挙できる。 3. 不正咬合の原因と障害を把握し、矯正治療の目的を説明できる。 4. 矯正力と歯の移動時の生体反応を説明できる。 5. 不正咬合に適した装置を識別し、その構造、機能を説明できる。 			
[授業の内容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	歯科矯正治療の概要 成長発育	1) 歯科矯正治療の目的と必要性・リスク 1) 頭部・顎・顔面・顎の成長発育	・ベネフィット、リスク ・顎・顔面の成長発育
2	正常咬合と不正咬合	1) 正常咬合・不正咬合 2) 不正咬合の分類・頻度・原因と予防	・正常咬合 成立の条件と種類 ・不正咬合 歯の位置、歯列弓、上下関係の異常
3	矯正歯科診断	1) 矯正歯科治療における診断と必要な検査 2) 症例分析	・形態検査、画像検査、機能検査 ・計測点と基準平面
4	矯正歯科治療と力	1) 歯の移動と固定、組織反応 2) 歯の移動様式	・固定の種類、歯根膜の反応 ・移動様式の種類・矯正力・保定
5	矯正装置	1) 矯正装置の種類 2) 自然保定と機械保定	・可撤式、固定式矯正装置 ・機能的矯正装置、拡大装置、顎外固定装置
6	上下顎の前後関係・ 垂直的関係の不調和 成人矯正	1) 過蓋咬合・開咬	・床矯正装置
7	口腔顎顔面の形態異常と変形	1) 口唇・口蓋裂・先天異常・顎変形症	・先天異常の種類、症状・口唇口蓋裂の治療
8	歯の埋伏と歯の異常 <small>矯正歯科治療時のトラブルへの対応 健康保険が適用される矯正治療</small>	1) 埋伏歯、先天欠如歯、過剰歯 1) 齶蝕、歯肉炎、歯周疾患、歯根吸収、顎関節症 2) アレルギー、トラブルへの対応	
			事前学習
			次回の授業内容をふまえて テキストを用いて予習する
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
・最新歯科衛生士教本「咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社		1) 科目終了時の最終試験の評価 : 90% 2) 出席率 : 10%	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科 目 名	学 科 / 学 年	年 度 / 時 期	授 業 形 態
障害者歯科学	歯科衛生学科/2年次	2021年度/前期	講義 ・ 演習 ・ 実習
授 業 の 回 数 (×90分)	単 位 数 (時 間 数)	必 須 ・ 選 択	授 業 担 当 者
15回	1単位 (30 時間)	必 須	関 愛子 ・ 綾野 理加 (実務経験有)
<p>[授 業 の 目 的 ・ ね ら い] 歯科衛生業務を行うために必要な障害者(児)の身体的・心理的特徴と歯科治療を理解する。</p> <p>【実務経験有】 関 愛子・綾野 理加: 歯科医師の資格を活かし、業務経験をもとに障害者歯科学に関する基礎知識を学生に教授する。</p> <p>[授 業 修 了 時 の 達 成 課 題 (行 動 目 標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害者(児)の概要を述べることができる。 2. 障害者(児)の全身的特徴と歯科的特徴を理解し、歯科保健医療の留意点を述べる。 3. 障害者(児)の歯科治療について説明できる。 4. 障害者(児)の歯科における医療安全について説明できる。 5. 障害者(児)の摂食・嚥下障害とリハビリテーションについて説明できる。 			
[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト
1	障害の概念	1) 歯科医療におけるスペシャルニーズ	・障害の分類
2		2) ノーマライゼーションとバリアフリー	・ノーマライゼーション、バリアフリー
3	歯科医療で特別な支援が必要な疾患	1) 精神発達・心理的発達と行動障害	・精神遅滞(染色体異常)
4		2) 運動障害	・広汎性発達障害、ADHD、LD、脳性麻痺
5		3) 感覚障害	・筋ジストロフィー、脊髄損傷、関節リウマチ、脳血管障害、ALS
6		4) 音声言語障害	・知覚障害、聴覚障害
6		5) 精神および行動の障害	・統合失調症、うつ病、てんかん、認知症、摂食障害
7	障害者の歯科医療と行動調整	1) コミュニケーションの方法	・脱感作法、モデリング法、カウント法、フラグデイング法、オペラント条件づけ、トークンエコノミー、レスポンスコスト法、タイムアウト法、ボイスコントロール
8		2) 行動療法	
9		3) 体動のコントロール	・鎮静法、全身麻酔
10		4) 薬物的行動調整法	
11	健康支援と口腔衛生管理	1) 障害者本人や介護者が行う口腔のケア	・器質的口腔ケア、機能的口腔ケア
12		2) 専門的口腔ケア	
13	摂食嚥下リハビリテーション	3) 特別な配慮が必要な患者の口腔衛生管理	・摂食5期、摂食嚥下障害と口腔管理、栄養管理
13		4) リスク評価と安全管理	・摂食嚥下障害の評価法
14		1) 摂食・嚥下リハビリテーションとは	・スクリーニングテスト
14		2) 摂食・嚥下障害と口腔保健管理・栄養管理	
14		3) 摂食・嚥下療法の評価表	
14	4) 摂食機能療法		
14	5) 摂食・嚥下障害への対処法	・地域医療連携	
15	地域における障害者歯科	1) 障害者歯科と地域医療連携	事前学習
15		2) 保健・医療・福祉のネットワーク	次回の授業内容をふまえて テキストを用いて予習する
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
・最新歯科衛生士教本「障害者歯科」第2版 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社		1) 科目終了時の最終試験の評価 : 90% 2) 出席率 : 10%	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
高齢者歯科学	歯科衛生学科/2年次	2021年度/前期	講義・演習・実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
15回	2単位(30時間)	必須	木村 年秀 (実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>歯科衛生業務を行うために必要な高齢者の身体的・心理的特徴と歯科治療を理解する。</p> <p>【実務経験有】木村 年秀: 歯科医師の資格を活かし、業務経験をもとに高齢者歯科学に関する基礎知識を学生に教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 老化と口腔の加齢変化について説明できる。 2. 高齢者とのコミュニケーションにおいて配慮すべき点について説明できる。 3. 要介護高齢者の身体疾患と口腔疾患について説明できる。 4. 高齢者歯科における医療安全について説明できる。 5. 器質的・機能的口腔ケアについて説明できる。 6. 高齢者の摂食・嚥下機能と障害について説明できる。 			
[授業の内容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	加齢による身体的・精神的変化	1) 加齢に伴う身体的機能の変化	・高齢者に多い全身疾患と口腔の関係
2		2) 高齢者の精神・心理的变化	・老化、うつ、せん妄
3		3) 高齢者に多い全身疾患・障害および口腔疾患	・悪性腫瘍、脳血管障害、心臓病、肺炎、パーキンソン病、認知症、高血圧症、糖尿病
4	高齢者の状態の把握	1) 高齢者の生活機能の評価 2) 高齢者歯科と臨床検査 3) 高齢者の栄養状態 4) 高齢者の薬剤服用	・根面う蝕、歯周病、トゥース・ウェア ・咬合、義歯、口腔カンジタ症、扁平苔癬 ・生活、ADL評価
5			・バイタルサイン、血液検査、
6			・栄養スクリーニング、栄養摂取方法
7			・薬物の影響、反応性の変化、副作用
8	口腔のケア	1) 高齢者に対する口腔のケア	・高齢者の特徴
9		2) 有病高齢者への口腔のケア	・虚血性心疾患、脳血管疾患、化学放射線療法
10		3) 要介護高齢者への口腔のケア	・高血圧、糖尿病、気管挿管
11	摂食・嚥下 リハビリテーション	1) 高齢者のリハビリテーションの概要	・国際障害分類、国際生活機能分類
12		2) 摂食・嚥下の評価と対応	・スクリーニングテスト
13		3) 誤嚥性肺炎の予防のための訓練 4) 在宅訪問歯科診療における摂食嚥下リハビリテーション 5) 介護施設における摂食嚥下リハビリテーション	・誤嚥性肺炎、嚥下訓練
14	高齢者にかかわる 医療と介護	1) 在宅訪問診療の概要	
15		2) かかりつけ歯科の役割	
			事前学習
			次回の授業内容をふまえてテキストを用いて予習する
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
・最新歯科衛生士教本「高齢者歯科」第2版 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社		1) 科目終了時の最終試験の評価 : 90% 2) 出席率 : 10%	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
歯周病予防法Ⅱ(前期)	歯科衛生学科/2年次	2021年度/通年	講義・ 演習 ・実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
30回	2単位(60時間)	必須	横井 敦子・北原 恵子 白川 みずえ・坪田 ゆかり(実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい] 歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する。</p> <p>【実務経験有】横井 敦子・北原 恵子・白川 みずえ・坪田ゆかり: 歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとに臨床における歯周病治療の知識や技術を学生へ教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プローブの種類と操作方法を説明できる。 2. 歯・歯肉・口腔の検査ができる。 3. 超音波スケーラー、エアスケーラーを操作できる。 4. 歯面清掃、歯面研磨ができる。 5. キュレットスケーラーを操作できる。 			
[授業の内容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	オリエンテーション	1) 授業の流れと目標	
2		2) 歯周病の進行(免疫反応)	
3	口腔内観察	1) 歯周検査の種類と内容	<ul style="list-style-type: none"> ・マネキン実習(復習) ・動揺度、コンタクトの検査 ・根分岐部の検査 ・精密検査(各検査) ・対象者からの情報収集 ・口腔内写真
4		2) 歯周精密検査	
5			
6		1) 口腔内写真	
7		2) 歯周精密検査	相互実習
8	超音波スケーラー	1) 超音波スケーラーとは	<ul style="list-style-type: none"> ・超音波スケーラーの種類 ・超音波スケーラーとエアースケーラーの違い ・超音波スケーラー操作の基本 ・使用目的 ・超音波スケーラー操作を正しく行なう
9		2) エアースケーラー、その他	
10		3) 超音波スケーラーの操作	
11	基礎実習1		<ul style="list-style-type: none"> ・マネキン実習 ・適正角度 ・操作方法 ・把持の仕方 ・固定、力、角度、動かし方
12			
			★実技試験
13	相互実習	1) 超音波スケーラーの相互実習	<ul style="list-style-type: none"> ・超音波スケーラーを口腔内で正しく操作する ・患者への配慮を行う、患者の心理を学ぶ
14		(下顎前歯部)	
15		(上顎前歯部)	
		(右側臼歯部)	
		(左側臼歯部)	事前学習
			次回の授業内容をふまえて テキストを用いて予習する
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
<ul style="list-style-type: none"> ・最新歯科衛生士教本 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版 「歯周病学」第2版 全国歯科衛生士教育協議会 監修 ・プリント 		<ol style="list-style-type: none"> 1) 科目終了時の最終試験の評価 : 90% 2) 出席率 : 10% <ul style="list-style-type: none"> ・実技試験に合格した者が以後の相互実習に参加することができる ・全ての相互実習に参加したものが最終試験を受験できる 	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト
16	歯面清掃器	1) 歯面清掃器とは	・適応症と禁忌症 ・機器の取り扱いと操作方法
17	基礎実習2	・マネキン実習	・患者への配慮 ★確認テスト(実技)
18		・ユニット実習	
19			
20	相互実習	1) プロービング、超音波スケーリング	・患者への配慮 ・基本の操作角度
21		2) シックルスケーリング、歯面研磨	
22			
23			
24	キュレットスケーリング	1) キュレットスケーラーの特徴	・グレーシーの基礎知識 ・ユニバーサルの基礎知識 ・キュレットスケーラーの目的 ・操作角度・挿入方法・側方圧 ・スケーリングとルートプレーニングの違い ★確認テスト(筆記)
25		2) 机上実習(植立模型) (上下顎前歯部) (左右側臼歯部)	
26	基礎実習3	1) 植立模型でのスケーリング	・小臼歯、大臼歯の形態と注意すべき点 ・部位別操作
27		2) 植立模型の歯石除去・マネキン実習	
28		1) 上顎前歯部 2) 下顎前歯部	
29		3) 下顎臼歯部 4) 上顎臼歯部	・操作角度 ・刃部を確実に歯面に当てる
30	まとめ		

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
歯周病予防法Ⅱ(後期)	歯科衛生学科/2年次	2021年度/通年	講義・ 演習 ・実習	
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者	
15回	1単位(30時間)	必須	横井 敦子・北原 恵子 白川 みずえ・坪田 ゆかり(実務経験有)	
<p>[授業の目的・ねらい] 歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する。</p> <p>【実務経験有】北原 恵子・横井 敦子・坪田 ゆかり・白川 みずえ: 歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとに臨床における歯周病治療の知識や技術を学生へ教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 歯周病と全身疾患との関連について説明できる。 対象者の歯周病リスクの評価方法を説明できる。 シャープニングができる。 部位に応じてキュレットタイプスケーラーを操作できる。 歯周病におけるメンテナンスの必要性を説明できる。 				
[授業の内容]				
回	単 元	内 容	学習のポイント	
1	シャープニング	1) シャープニングの意義と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・適正角度 ・原型の形 ・砥石の動かし方と、刃先のシャープニング 	
2		2) シャープニングに使用する器材		
3		3) シャープニングの方法		
4	キュレット基礎実習	1) 上顎前歯部	<ul style="list-style-type: none"> ・ファントム実習 	
5		2) 下顎前歯部		
6		3) 下顎臼歯部		
7		4) 上顎臼歯部		
8	キュレット相互実習	一連の流れで実習(プロービングから歯面研磨まで)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯肉を傷つけない挿入と操作 ・スケーラーの選択 ・ポジションと姿勢 	
9				・相互実習
10	総合相互実習	一連の流れで実習(プロービングから歯面研磨まで)	<p style="text-align: right;">★実技試験</p>	
11				・相互実習
12				
13				
14				
15	スケーラーまとめ	<ol style="list-style-type: none"> 1) 部位やポケットの形態に適合した器具の選択 2) 根面の状態に合わせた操作方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートプレーニング ・ディ・プラーキング ・側方圧・角度・挿入 	
		・マネキン実習	★実技試験	
			事前学習	
			次回の授業内容をふまえてテキストを用いて予習する	
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)		
<ul style="list-style-type: none"> ・最新歯科衛生士教本 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版 「歯周病学」第2版 全国歯科衛生士教育協議会 監修 ・プリント 		<ol style="list-style-type: none"> 1) 科目終了時の最終試験の評価 : 90% 2) 出席率 : 10% <ul style="list-style-type: none"> ・実技試験に合格した者が以後の相互実習に参加することができる ・全ての相互実習に参加したものが最終試験を受験できる 		

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
歯科保健指導論Ⅱ	歯科衛生学科/2年次	2021年度/前期	講義 ・ 演習 ・ 実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
15回	1単位(30 時間)	必須	坪田 ゆかり ・ 北原 恵子 横井 敦子 ・ 白川 みずえ(実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度を習得する。</p> <p>【実務経験有】坪田 ゆかり・北原 恵子・横井 敦子・白川 みずえ: 歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとにライフステージにおける歯科保健指導の知識や技術を学生へ教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔衛生管理を行うための歯科衛生介入計画を立案できる。 2. 歯科保健指導における書面化の意義を説明できる。 3. 不正咬合に応じた口腔衛生指導ができる。 4. 義歯装着に応じた口腔衛生指導ができる。 5. 口腔乾燥に関する指導ができる。 			
[授業の内容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	歯科衛生過程の進め方	1) 歯科衛生過程の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・思考と行動のプロセス ・クリティカルシンキング ・臨床推論 ・ニード理論、歯科衛生ニーズ ・主訴、現病歴、全身の既往歴、家族歴
2		2) 歯科衛生過程の各構成要素	
3		3) 歯科衛生過程を進めるうえで重要な考え方	
4		4) 歯科衛生士の視点による問題解決	
5		1) 患者からの情報収集	
6		2) 全身の健康状態の把握	
7	成人期の 口腔衛生指導	3) 認知機能の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・器質的、機能的問題の把握 ・質問式スケール、観察式スケール ・社会構造、虐待 ・食習慣、喫煙、飲酒、睡眠、ストレス ・口腔内の観察
8		4) 生活環境と生活背景の把握	
9		5) 生活習慣の把握	
10	老年期の 口腔衛生指導	6) 口腔の器質的問題の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・症例展開
11		1) 一般的特徴	
12		2) 口腔の特徴	
13	口腔衛生管理の実践	3) 食生活の特徴と栄養	<ul style="list-style-type: none"> ・症例展開
14		4) 食生活と指導	
15		5) 摂食障害と栄養	
		1) 症例1 義歯管理	
		2) 症例2 粘膜ケア	
		3) 症例3 矯正装置	
			事前学習
			次回の授業内容をふまえて テキストを用いて予習する
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
・最新歯科衛生士教本 「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」 全国歯科衛生士教育協議会 編集 医歯薬出版株式会社		1) 科目終了時の最終試験の評価 : 90% 2) 出席率 : 10%	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
歯科保健指導演習Ⅱ	歯科衛生学科/2年次	2021年度/後期	講義 ・ 演習 ・ 実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
15回	1単位(30時間)	必須	坪田 ゆかり ・ 奈良 育代・ 本田 里恵(実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度を習得する。</p> <p>【実務経験有】坪田 ゆかり・本田 里恵: 歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとにライフステージにおける歯科保健指導の知識や技術を学生へ教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者の生活習慣の把握ができる。 2. 非感染性疾患を有する対象者の指導ができる。 3. 全身的な健康状態を把握できる。 4. 特別配慮を要する全身疾患患者、障害児者、要介護者、大規模災害者に対する指導ができる。 5. 周術期、歯科訪問診療時の口腔衛生管理ができる。 			
[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	高齢者をとりまく社会と環境	1)高齢社会と健康 2)高齢者のかかわる法制度	・居宅環境、対象の把握 ・高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険
2	口腔ケアの概要		
3	高齢者の歯科診療における歯科衛生士の役割	1) 高齢者体験(実習)	・老化、加齢 ・麻痺
4	口腔機能管理に関わる指導	1)口腔機能低下に関連する指導 2)非感染性疾患(NCDs)	・口腔機能低下症のスクリーニング ・心臓血管症、がん、慢性肺疾患、糖尿病、高血圧、脂質異常症
5	生活習慣の指導		
6	要介護高齢者	1)要介護高齢者の一般的特徴 2)要介護高齢者の口腔の特徴 3)要介護高齢者の歯科保健指導 4)要介護高齢者の食生活の特徴と栄養 5)要介護高齢者の食生活指導	・障害高齢者の日常生活自立度 ・口腔衛生介入の目標 ・介護者によるケアの目標 ・改訂BDR指標
7			
8	障害児者	1)障害児者の一般的特徴 2)障害児者の口腔の特徴 3)障害児者の歯科衛生介入 4)障害児者の食生活の特徴と栄養	・身体障害者
9			
10	高齢者の口腔保健管理(本田先生)	1)歯科衛生士による口腔保健管理	
11			
12	歯科衛生士が行う口腔ケア(実習)	1)座位、寝たきり	
13			
14		2)専門的口腔清掃	
15		3)口腔ケアの流れ(情報収集～評価)	
			シミュレーションモデル使用
			事前学習
			次回の授業内容をふまえてテキストを用いて予習する
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
<ul style="list-style-type: none"> ・最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版 ・最新歯科衛生士教本「高齢者歯科」第2版 ・最新歯科衛生士教本「障害者歯科」第2版 ・最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版 		<ol style="list-style-type: none"> 1) 科目終了時の最終試験の評価 : 90% 2) 出席率 : 10% 	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
歯科診療補助論Ⅱ	歯科衛生学科/2年次	2021年度/前期	講義 ・ 演習 ・ 実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
30回	2単位(60時間)	必須	白川 みずえ・坪田 ゆかり 横井 敦子・北原 恵子(実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>様々なライフステージにおける歯科医療に対応するため、専門的な歯科医療の補助に関する基礎知識、技術および態度を習得する。</p> <p>【実務経験有】白川 みずえ・坪田 ゆかり・横井 敦子・北原 恵子:歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとに歯科診療補助の知識や技術を学生へ教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンポジットレジン修復の器具や材料の準備ができる。 2. 漂白法の種類を説明できる。 3. 歯髄処置の薬剤や器材の準備ができる。 4. 歯周外科治療の手順を説明できる。 5. 矯正治療に必要な機材の準備ができる。 			
[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	検査・診断時の業務	1) 医療面接と検査	・検査内容
2	口腔内診査	2) 治療の流れ・口腔診査	
3	歯科診療の流れ	1) 口腔診査相互実習	★確認テスト
4	保存修復時の診療補助	1) 歯間分離	・タッフルマイヤー型リテーナー
5		2) 隔壁マネキン実習	・ウェッジ、セパレーター、マトリクスバンド
6		3) 歯髄保護	・水酸化カルシウム製剤
7		4) 直接修復の流れ	★確認テスト
8		5) コンポジットレジン充填実習(V級窩洞)	・窩洞形成
9		6) グラスアイオノマー充填実習	・接着前処理
10		7) 間接修復の流れ	・充填
11		8) 精密印象実習	・研磨
12		9) 仮封・合着	・シリコーンゴム連合印象法
13	補綴治療の診療補助	1) 補綴治療の検査	・寒天アルジネート連合印象法
14		2) クラウン・ブリッジの治療(生活歯)	・仮封材
15		3) クラウンブリッジの治療(失活歯)	・仮封材
		4) 全部床義歯、部分床義歯の治療の流れ	★確認テスト
		5) 義歯装着患者指導	・チェックバイト
		6) 技工関連の管理	・平行測定、咬合音測定
			次のページに続く
			事前学習
			次回の授業内容をふまえて テキストを用いて予習する
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版 「歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」 「咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴」 「歯周病学」第2版 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社		1) 実習・実技評価 : 90% 2) 出席率 : 10%	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト
16	歯内療法時の診療補助	1) 歯髄処置の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・生活歯髄切断法、直接抜髄法 ・根管治療、根管充填
17		歯内療法トレーセッティング	
18	口腔外科の診療補助	1) 問診・観察・検査	<ul style="list-style-type: none"> ★確認テスト ・麻酔、点滴 ・吸入鎮静法
19		2) 術前管理	
20		3) 抜歯の器材	
21		4) 口腔外科手術	
22		5) インプラント	
21	小児歯科の診療補助	1) 診療補助と歯科衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・顔面写真、口腔内写真 ・印象採得、画像検査 ・バンド装着器具
22		2) 保存修復	
23	矯正治療の診療補助	3) 外科的処置	
24		4) 咬合誘導	
25		1) 検査の補助	
26		2) 顔面規格写真	
25	歯周病治療の診療補助	3) 矯正歯科用器具・材料の準備と取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・顔面写真、口腔内写真 ・印象採得、画像検査 ・バンド装着器具
26		4) 可撤式装置・固定式装置	
27		1) 歯肉切除術	
28		2) 歯周ポケット搔爬術	
29		3) 新付着術	
30		4) フラップ手術	
		5) 歯周組織再生誘導法	
28	医療保障制度	6) 遊離歯肉移植術	<ul style="list-style-type: none"> ・顔面写真、口腔内写真 ・印象採得、画像検査 ・バンド装着器具
29		1) 医療保険	
30		2) 介護保険	
		3) カルテの記載	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学 科 / 学 年	年 度 / 時 期	授 業 形 態
歯科診療補助演習	歯科衛生学科/2年次	2021年度/後期	講義 ・ 演習 ・ 実習
授 業 の 回 数 (×90分)	単 位 数 (時 間 数)	必 須 ・ 選 択	授 業 担 当 者
15回	1単位(30 時間)	必 須	横井 敦子 ・ 坪田 ゆかり (実務経験有)
<p>[授 業 の 目 的 ・ ね ら い]</p> <p>様々なライフステージにおける歯科医療に対応するため、専門的な歯科医療の補助に関する基礎知識、技術および態度を習得する。</p> <p>【実務経験有】横井 敦子・坪田 ゆかり:歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとに歯科診療補助の知識や技術を学生へ教授する。</p> <p>[授 業 修 了 時 の 達 成 課 題 (行 動 目 標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 偶発事故に適切な対応ができる。 2. 在宅訪問治療時の高齢者の対応ができる。 3. 前歯、臼歯用の暫間被覆冠を作製できる。 			
[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト
1	全身疾患をもつ患者と 歯科診療補助	1)患者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・循環器系疾患 ・脳血管疾患 ・呼吸器系疾患 ・代謝性疾患 ・肝疾患 ・腎疾患 ・血液疾患
2		2)医療従事者への対応	
3		3)現場で起こりうるヒヤリ・ハット	
4			
5			
6			
7	大規模災害被災者 周術期	1)災害と避難施設	<ul style="list-style-type: none"> ・フェーズごとの歯科保健指導 ・災害時に発生する歯科的問題 ・保険制度における周術期口腔機能管理
8		2)災害時の歯科保健医療	
9	歯科訪問診療	1)歯科訪問の診療補助	・歯科訪問診療の流れ
10	コンポジットレジン充填実習	1)Ⅲ級窩洞充填実習	
11			
12	暫間被覆冠作製実習	1)前歯	
13			
14		2)臼歯	
15			事前学習
			次回の授業内容をふまえて テキストを用いて予習する
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
<ul style="list-style-type: none"> ・最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版 ・最新歯科衛生士教本「臨床検査」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社 ・デンタルハイジーン別冊 歯科衛生士のための 全身疾患ハンドブック 		<ol style="list-style-type: none"> 1) 科目終了時の最終試験の評価 : 60% 2) 提出物の評価 : 30% 3) 出席率 : 10% 	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
臨地実習Ⅱ	歯科衛生学科/2年次	2021年度/通年	講義 ・ 演習 ・ 実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
	1単位(45時間)	必須	横井 敦子・坪田 ゆかり・北原 恵子・ 白川 みずえ(実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい] 歯科衛生業務を修得するために、歯科診療、地域保健活動などの場を通して歯科衛生士として必要な知識、技術および態度を身につける。</p> <p>【実務経験有】横井 敦子・坪田 ゆかり・北原 恵子・白川 みずえ:歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとにライフステージ別の口腔健康管理ができるよう教授する。</p>			
[内 容 と 計 画]			
事前学習として「実習要綱」「オリエンテーション資料」を熟読し、課題に合格する。また、臨地実習後は課題レポートを提出し実習の学びを共有する。(詳細については「実習要綱」を参照)			
ライフステージ	実習施設	実習目標	
1 乳幼児期	市町村保健センター	1. 地域保健活動の実際が把握できる 2. 地域保健活動における多職種の役割を知る 3. 地域保健活動における歯科衛生士の役割を知る 4. 地域保健活動における歯科衛生士と多職種の連携を知る 5. 母子保健法における市町村が実施する母子保健事業がわかる 6. カンファレンスの必要性を理解した発言ができる	
2 学齢期	小学校	1. 学齢期の一般的特徴、口腔の特徴および歯科保健活動を理解する 2. 学齢期の身体や口腔機能の発達段階を理解する 3. 学齢期の健康教育に必要な情報を収集できる 4. 学齢期の健康教育の計画立案ができる 5. 学齢期の健康教育の内容方法が説明できる 6. 小学校における学齢期の健康教育が実践できる	
3 老年期	高齢者施設	1. 高齢者施設における要介護高齢者に関わる他職種の業務内容を理解する 2. 高齢者施設における要介護高齢者の生活機能を知る 3. 高齢者施設における口腔健康管理において時間や方法、道具などがわかる 4. カンファレンスの必要性を理解した発言ができる	
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
最新歯科衛生士教本 「歯科診療補助論第2版」 「歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版」 「高齢者歯科第2版」「障害者歯科第2版」 「小児歯科第2版」「保健生態学第2版」 「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション」		実習への参加状況および態度、日々の実習日誌、レポート等から総合的に評価する (詳細については評価表参照)	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
臨地実習Ⅲ	歯科衛生学科/2年次	2021年度/通年	講義 ・ 演習 ・ 実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
	8単位(360時間)	必須	横井 敦子・坪田 ゆかり・北原 恵子・ 白川 みずえ(実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>歯科衛生業務を修得するために、歯科診療、地域保健活動などの場を通して歯科衛生士として必要な知識、技術および態度を身につける。</p> <p>【実務経験有】横井 敦子・坪田 ゆかり・北原 恵子・白川 みずえ:歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとに歯科衛生分野における知識、技術および態度を身につけることができるよう教授する。</p>			
[内容と計画]			
事前学習として「実習要綱」「オリエンテーション資料」を熟読し、課題に合格する。また、臨地実習後は課題レポートを提出し実習の学びを共有する。(詳細については「実習要綱」を参照)			
ライフステージ	実習施設	実習目標	
1 配慮を要する者	総合病院	1.総合病院の特殊性を知る 2.安全管理の重要性を知る 3.周術期の口腔健康管理について知る 4.口腔健康管理・摂食嚥下の支援・特殊環境下での 歯科診療から歯科衛生士の役割を知る	
2 乳幼児～老年期	歯科診療所	1. 歯科医師、歯科衛生士からの指示内容を踏まえた対応ができる 2. 対象者の守秘義務を遵守できる 3. 医療安全に配慮した行動ができる 4. 器材、機器および薬品の管理の方法を理解した行動ができる (詳細は「実習要綱」を参照)	
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
最新歯科衛生士教本 「歯科診療補助論第2版」 「歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版」 「高齢者歯科第2版」「障害者歯科第2版」 「小児歯科第2版」「保健生態学第2版」「口腔外科・歯科麻酔」 「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション」		1) 臨床実習指導者からの評価 : 60% 2) レポート内容および態度 : 30%	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科 目 名	学 科 / 学 年	年 度 / 時 期	授 業 形 態
口腔機能管理学	歯科衛生学科/2年次	2021年度/後期	講義 ・ 演習 ・ 実習
授 業 の 回 数 (×90分)	単 位 数 (時 間 数)	必 須 ・ 選 択	授 業 担 当 者
30回	2単位(60 時間)	必 須	坪田 ゆかり・奈良 育代・本田 里恵 (実務経験有)
<p>[授 業 の 目 的 ・ ね ら い]</p> <p>口腔機能低下と口腔機能障害に応じた機能向上に向けて、口腔機能管理と指導を行うために専門的知識、技術および態度を修得する。</p> <p>【実務経験有】坪田 ゆかり・本田 里恵: 歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとにライフステージにおける歯科保健指導の知識や技術を学生へ教授する。</p> <p>【実務経験有】奈良 育代: 看護師の資格を活かし、業務経験をもとに介護技術や他職種との連携に対する知識や技術を学生へ教授する。</p> <p>[授 業 修 了 時 の 達 成 課 題 (行 動 目 標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発達と加齢に伴う細胞、組織、器官の形態的および機能的な変化を概説できる。 2. 口腔機能リハビリテーションを概説できる。 3. 口腔機能の現状を把握するための評価ができる。 4. 口腔機能訓練(間接訓練、直接訓練)ができる。 5. 各ライフステージ別の口腔機能管理ができる。 			
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト
1	歯科衛生士と摂食嚥下 リハビリテーション	1) 摂食機能療法の実施 2) 生涯を通じて	・ 摂食機能療法 ・ 第三の医学
2	リハビリテーションと 摂食嚥下	1) リハビリテーション医学・医療総論 2) 摂食嚥下リハビリテーションの実際と役割	・ リハビリテーション医学 ・ 摂食嚥下のプロセス、口腔健康管理
3	摂食嚥下障害者への 口腔管理と制度の理解	1) 摂食嚥下障害者に関する制度	・ 地域包括ケアシステム、地域連携 ・ 地域連携
4			・ チーム医療(他職種連携) ・ 医療保険、介護保険と口腔健康管理
5	摂食嚥下機能の メカニズム	1) 摂食嚥下び関わる構造(解剖)	・ 口腔、咽頭、喉頭、鼻腔の構造
6		2) 摂食嚥下び関わる構造(機能)	・ 摂食運動、嚥下運動
7		3) 発達期の摂食嚥下機能	・ 発達期の口腔形態、機能の定型発達 ・ 離乳期、乳児期の機能発達
8	咬合および咀嚼機能の 管理と評価	1) 咬合と咀嚼機能 2) 咀嚼の評価と管理	・ 下顎運動と咬合様式 ・ 咀嚼機能の評価法
9		3) 咬合・咀嚼と全身	・ オーラルフレイル、口腔機能低下症
10	栄養評価	1) 栄養スクリーニングと栄養アセスメント	・ 栄養スクリーニング ・ 栄養アセスメント
11		2) 栄養ケア	・ 栄養必要量、栄養補給方法 ・ 食形態
12	病態別摂食嚥下障害	1) 発達期の摂食嚥下障害と原因疾患	・ 小児の摂食嚥下障害の原因 ・ 口腔機能発達不全症
13		2) 成人期・老年期の疾患に伴い 多くみられる嚥下摂食障害	・ 脳卒中 ・ 神経筋疾患
14			・ サルコペニア ・ 認知症、口腔癌
15	摂食嚥下の評価	1) 歯科衛生士が行う スクリーニングテストと観察評価	・ 発達期の摂食嚥下機能の評価
			次のページに続く
			事前学習
			次回の授業内容をふまえて テキストを用いて予習する
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション第2版 ・ 最新歯科衛生士教本「障害者歯科」第2版 ・ 最新歯科衛生士教本「高齢者歯科」第2版 ・ 最新歯科衛生士教本「臨床検査」第2版 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社		1) 科目終了時の最終試験の評価 : 90% 2) 出席率 : 10%	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト
16	摂食嚥下の評価		<ul style="list-style-type: none"> ・精密検査
17	摂食嚥下リハビリテーション と口腔衛生管理	1)口腔衛生管理の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔衛生管理実施前の評価 ・姿勢調整 ・口腔衛生管理の方法 ・口腔衛生管理中のリスク管理
18			
19	摂食嚥下訓練	1)摂食嚥下障害に対する訓練計画立案 2)摂食嚥下障害に対する食事指導 3)各病態に対する訓練法とその選択	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下障害に対する訓練 ・食形態 ・基礎訓練(間接訓練)の選択と実施 ・摂食訓練(直接訓練)の選択と実施
20			
21			
22	リスクマネージメント (看護学科)	1)全身管理の把握と対応 2)緊急時の対応 3)気管切開 4)吸引	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタルサインのチェック、モニタリング アセスメント ・誤嚥、窒息 ・気管カニューレの構造と種類 ・気管切開とリハビリテーション ・喀痰吸引 ・禁忌と注意を要する状態 ・吸引時の注意点
23			
24			
25			
26	発達期の摂食嚥下機能 療法の実際 (三木先生)	1)離乳期から幼児期における機能発達	<ul style="list-style-type: none"> ・発達期の口腔形態、機能の定型発達 ・離乳期、乳児期の機能発達
27			
28	摂食嚥下リハビリテーション の基本 (本田先生)	1)歯科衛生士による摂食機能療法	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下患者の症例展開
29			
30			

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
特別活動Ⅱ	歯科衛生学科/2年次	2021年度/通年	講義 ・ 演習 ・ 実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
15回	1単位(30時間)	必須	北原 恵子・横井 敦子 坪田 ゆかり・白川 みずえ(実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい] 歯科衛生士業務を取得するために、地域歯科保健活動などの場を通して歯科衛生士として必要な知識、技術および態度を身につける。</p> <p>【実務経験有】北原 恵子・横井 敦子・坪田 ゆかり・白川 みずえ: 歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとに臨床実習に臨む心構えや知識、技術を学生へ教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者からの要求を理解した対応ができる。 2. 安全管理に配慮した行動ができる。 3. 集団を対象に歯科衛生教育活動が実践できる。 4. 指導者からの指示内容を理解した行動ができる。 5. 現場に応じた業務記録の記述ができる。 			
[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	特別活動① (臨地実習・小学校)	1) 臨地実習オリエンテーション	・シナリオ作成 ・媒体作成 ・講話・ブラッシング指導
2		2) 臨地実習前技術演習	
3			
4			
5			
6			
7		3) 振り返り	
8	特別活動② (臨地実習・歯科診療所)	1) 臨地実習オリエンテーション	
9		2) 臨地実習前技術演習	
10			
11			
12		3) 振り返り	
13	特別活動③ (学科活動・学年活動)	1) 企画	
14		2) 実施	
15		3) 振り返り	
			事前学習
			次回の演習内容をふまえて テキスト、プリントを用いて予習する
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
新人歯科衛生士 デンタルスタッフポケットマニュアル		1) 課題 : 90% 2) 出席率 : 10%	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学 科 / 学 年	年 度 / 時 期	授 業 形 態
選択科目 (グローバル歯科衛生士入門)	歯科衛生学科/2年次	2021年度/前期	講義 ・ 演習 ・ 実習
授 業 の 回 数 (×90分)	単 位 数 (時 間 数)	必 須 ・ 選 択	授 業 担 当 者
15回	1単位(30時間)	必 須	横井 敦子・坪田 ゆかり ・ 北原 恵子・白川 みずえ(実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>地域歯科衛生入門・健康教育入門・グローバル歯科衛生入門のいずれかを選択する。 グローバル歯科衛生入門:調べ学習を行い世界の歯科衛生について研究し発表する。また後期の英語コミュニケーションで学んだ内容を実践する機会を作り異文化に対する見識を養うことをねらいとする。</p> <p>【実務経験有】横井 敦子・坪田 ゆかり・北原 恵子・白川 みずえ:歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとに歯科衛生分野における見識を深めることができるよう教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <p>1. 海外における歯科衛生活動に実際を知ることができる。 2. 異文化における見識を深めることができる。</p>			
[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト
1	海外の歯科衛生士	1)選択科目オリエンテーション	調べ学習で概要を知る
2		2)グループ学習	学習スケジュールを作成
3	海外と日本の歯科衛生活動について	1)欧米	海外の歯科衛生活動について知る 関係学会 歯科衛生士団体、組織 WHO活動
4		2)日本	
5		3)アジア	
6	歯科衛生活動研究	1) 研究のスケジュール	
7	} <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="width: 10px; height: 100%; border-left: 1px solid black; margin-right: 5px;"></div> <div style="width: 100%; text-align: center;"> 7~13各グループにおいて計画し、担当指導者から指導を受けながら研究活動を行う。 </div> </div>		
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14	グループ発表		
15	グループ発表		
			事前学習
			次回の授業内容をふまえて テキスト、プリントを用いて予習する
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
テキストは適宜配布		各グループにおいて自己の役割を発揮し主体的に取り組むこと	
		1) 授業態度・参加状況 : 50%	
		2) 課題内容・発表 : 40%	
		2) 出席率 : 10%	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
選択科目 (地域歯科衛生士入門)	歯科衛生学科/2年次	2021年度/前期	講義 ・ 演習 ・ 実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
15回	1単位(30時間)	必須	横井 敦子・坪田 ゆかり・北原 恵子・白川 みずえ(実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>地域歯科衛生入門・健康教育入門・グローバル歯科衛生入門のいずれかを選択する。 地域歯科衛生入門:地域の歯科衛生活動について調べ、興味のある活動を探求するために課外活動を行い発表する。 地域における歯科衛生活動の在り方を考え、歯科衛生士の視点から企画力を養うことをねらいとする。</p> <p>【実務経験有】横井 敦子・坪田 ゆかり・北原 恵子・白川 みずえ:歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとに歯科衛生分野における見識を深めることができるよう教授する。</p> <p>[授業終了時の達成課題(行動目標)]</p> <p>1. 地域における歯科衛生活動に実際を知ることができる。 2. 興味ある地域歯科衛生活動を選択し課外活動を計画し実施することができる。</p>			
[授業の内容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	地域で活動する歯科衛生	1)選択科目オリエンテーション	調べ学習で概要を知る
2	地域で活動する歯科衛生士の実際	2)グループ調べ学習	学習スケジュールを作成
3	活動場所の選択	1)へき地の歯科診療所での活動	
4		2)介護現場での活動(要介護者、在宅)	
5		3)企業、保健センターでの活動	
6	歯科衛生活動研究	1)研究のスケジュール 2)選択した課外活動の行動目標を立てる	
7	}	7～13各グループにおいて計画し、担当指導者から指導を受けながら研究活動を行う。	
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14	グループ発表		
15	グループ発表		
			事前学習
			次回の授業内容をふまえて テキスト、プリントを用いて予習する
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
テキストは適宜配布		各グループにおいて自己の役割を発揮し主体的に取り組むこと	
		1) 授業態度・参加状況 : 50%	
		2) 課題内容・発表 : 40%	
		2) 出席率 : 10%	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
選択科目 (健康教育入門)	歯科衛生学科/2年次	2021年度/前期	講義 ・ 演習 ・ 実習	
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者	
15回	1単位(30時間)	必須	横井 敦子・坪田 ゆかり・北原 恵子・白川 みずえ(実務経験有)	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>地域歯科衛生入門・健康教育入門・グローバル歯科衛生入門のいずれかを選択する。 健康教育入門:学校歯科保健活動や高齢者に対する健康教育活動について調べ、興味のある対象者を選び、対象者に合わせた健康教育を立案する。課外活動にて発表を行うことで歯科保健活動における企画力を養うことをねらいとす</p> <p>【実務経験有】横井 敦子・坪田 ゆかり・北原 恵子・白川 みずえ:歯科衛生士の資格を活かし、業務経験をもとに歯科衛生分野における見識を深めることができるよう教授する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <p>1. 学校における歯科衛生活動に実際を知ることができる。 2. 興味ある学校および高齢者に対する歯科衛生活動を選択し課外活動を計画、立案し実施することができる。</p>				
[授業の内容]				
回	単 元	内 容	学習のポイント	
1	学校歯科保健活動における歯科衛生士	1)選択科目オリエンテーション	調べ学習で概要を知る	
2		2)グループ調べ学習	学習スケジュールを作成	
3		3)小学校での活動		
4		4)保育所・幼稚園での活動		
5		5)その他健康教育現場での活動		
6	歯科衛生活動研究	1)研究のスケジュール		
7		2)選択した課外活動の行動目標を立てる		
8				
9		7～13各グループにおいて計画し、担当指導者から指導を受けながら研究活動を行う。		
10				
11				
12				
13				
14	グループ発表			
15				
			事前学習	
			次回の授業内容をふまえてテキスト、プリントを用いて予習する	
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)		
テキストは適宜配布		各グループにおいて自己の役割を発揮し主体的に取り組むこと		
		1) 授業態度・参加状況 : 50%		
		2) 課題内容・発表 : 40%		
		2) 出席率 : 10%		